

【平成 16 年度専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業】

事業名	初心者を対象とした国際ビジネス（貿易実務）に関する実践的学習プログラムの開発		
学校法人名	学校法人 佐野学園		
学校名	専門学校 神田外語学院		
代表者	佐野隆治	担当者・連絡先	坂部 修一 (03-3252-5430) E-mail:sakabe@kifl.ac.jp
<p><事業の概要></p> <p>初心者向け貿易実務の実践的学習プログラム開発を目的として、本事業では、（１）企業における貿易実務のニーズを探るためのアンケート（100社）およびインタビュー（20社）調査、（２）教材およびカリキュラム開発、（３）開発教材およびカリキュラムを検証するための実証講座（60時間）を実施した。</p> <p>企業における貿易実務に関するニーズ調査では、アンケートおよびインタビューの結果を分析し、企業で必要とされる人材、知識、スキルについて検証を行った。</p> <p>教材およびカリキュラム開発については、貿易実務の基礎、英文ビジネス・ライティング、パソコン演習、貿易実務に関する英会話の４項目を設定し、各項目についてそれぞれ開発を行った。</p> <p>実証講座にて開発教材の一部を使用し、貿易実務に関して主に初心者を対象として上記４講座を実施し、アンケートにより授業内容および開発教材の検証を実施した。</p> <p><成 果></p> <p>企業における貿易実務に関するニーズ調査では、業種によって、例えば、商社では英語力、フォワーダーでは通関・船積の知識のように、初心者に求める知識、スキルに差異が見られ、教材およびカリキュラム開発において参考とした。また、企業担当者からは、絵、図、写真などを豊富に掲載し、視覚により理解が図れる教材および業種によって必要な項目も異なるため、業種ごとの教材を求める声が多かった点は参考となった。</p> <p>学習方法としては英文ビジネス・ライティングは貿易実務の基礎と同時に学習することが効果的であり、一方、パソコン演習および英会話は事前に貿易実務の基礎の学習が必要であることが実証講座を通して検証できた。</p> <p>特に、パソコン演習においては、実際に貿易実務に従事した場合、貿易取引で多用される基本的な書類を輸出者および輸入者の立場で作成し、理解を深めることを目標として実施したが、受講者の学習状況、理解度などを通して、パソコンでの実践的なシミュレーションの学習方法を開発することができた。</p>			